

授業を終えて

この授業は、大学院教育改革支援プログラム「女性の高度な職業能力を開発する実践的教育」が採択されたことに伴って実現しました。「実践スキルゼミナール（エスノメソドロジー・ワークショップ）」という長い名称は、これが具体的なスキルの習得にも役立つことをめざす科目群に属することを示します。この科目では、ビデオによる撮影やその映像データの編集、およびエスノメソドロジーの方法による分析までの具体的な作業を実際に行うことをめざしました。そして、講師の榎田美雄氏は、この方法を用いた研究に関して、量的にも質的にもこの国の第一人者と言って誇張のない業績を重ねている方です。

この授業は、本来の受講資格をもつ大学院博士前期課程の学生のみならず、後期課程の学生やその他関心を持つ研究者・学生にも公開されました。榎田氏は、明確な目的を戦略的に考え抜かれた方法によって追求するという点でも、きわめて実践的な授業を展開されました。参加者は、現在の社会学の諸領域において最も自覚的に実証的であろうとするエスノメソドロジーの方法に触れて、新鮮な驚きを覚えたはずで、「あるがままの現実がいかにしてそのように成り立っているのかを問う」というその問題意識を身に付けることは、これまでの思考方法との隔たりから簡単ではありません。とはいえ、新しい視点に立って考えるという努力の成果の一端は、この報告書に現れているでしょう。

この授業は、昨年の榎田氏をお招きしての院生自主企画セミナーを基礎に実現しました。今回の授業でも、受講した学生の皆さんの積極的な参加・運営によって、受動的な学習を超えた研究の領域に踏み込めたのではないかと思います。また、今後も機会を得て、榎田氏の協力を仰ぎながら、引き続き新しい社会学的方法の開拓をめざすこの試みを続けてゆくつもりです。

大学院教育改革支援プログラム「女性の高度な職業能力を開発する実践的教育」副代表
栗岡幹英